

連続講演会 <第14回>

多摩川の自然史

～生物とそれを育む大地～

都会の喧噪の中を悠々と流れる多摩川。そこには、植物が繁茂し、動物が戯れる。都市化が進んでも、多摩川には自然が残されていて、人々の生活や憩いの源となっている。それは、多摩川ができた時から今日まで続いていて、また、将来もそうなのであろう。

多摩川河床に露出する僅かな地層や出土する化石から、私たちが住む前の多摩川の自然が見えてくる。私たちに追われた動物、生きるための彼らの工夫、彼らや私たちを支える植物、私たちと自然との共生をはかることを考えさせてくれるのも多摩川なのである。

多摩川にご関心・ご興味がある皆様、普段多摩川で活動されている皆様のご参加をお待ちしています。

日時： 2007年 1月 31日(水) [14:00受付] 14:30開始～17:30終了

会場： 東京学芸大学 環境教育実践施設 多目的教室

<内容>

挨拶 松川正樹 (東京学芸大学環境科学分野・教授)

講演① 「多摩の自然と災害－自然との共存をはかる－」

高橋 修 (東京学芸大学宇宙地球科学分野・助教授)

講演② 「動物の繁殖戦略」

狩野賢司 (東京学芸大学生命科学分野・助教授)

講演③ 「植物雑学」

犀川政稔 (東京学芸大学環境科学分野・教授)

講演④ 「100万年ほど前の東京の自然と生態系」

松川正樹 (東京学芸大学環境科学分野・教授)

◆入場無料 (なるべく事前にお申し込みの上お越しください)

○申し込み先: FAX 042-329-7669 または Email: tama-eco@u-gakugei.ac.jp

申し込み締切日: 開催日の3日前まで

* 参加日、お名前、所属、ご連絡先をお書きの上、FAX またはEmailにて送信してください。



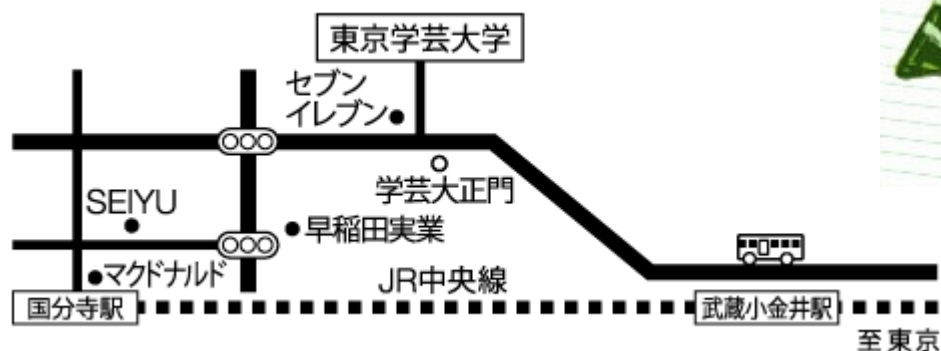
■「多摩川エコモーション」について

東京学芸大学は、平成 17 年から「持続可能な社会づくりのための環境学習活動～多摩川バイオリージョンにおけるエコミュージアムの展開～」をテーマに教育プロジェクトを展開しています。これは文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラムに採択されたものです。

「多摩川エコモーション」と名付けたこのプロジェクトでは、首都圏の様々な地域で学芸大学の学生が地域の人たちと協力しながら、授業を通じて地域課題の学習活動を行います。環境保全・持続的な社会づくり、そして地域活性化に貢献するのがこの教育プロジェクトのねらいです。

今回の講演会はその一環として行われるものです。大学の学生・教職員のみならず、地域の方々の参加を期待しています。

アクセスマップ



1. JR 中央線「武蔵小金井駅」下車
北口改札前より京王バス「小平団地行き」学芸大正門下車
2. JR 中央線「国分寺駅」下車北口より徒歩約 15 分

申し込み用紙

FAX : 042-329-7669

*ご記入の上、本紙をそのままご送信ください。

1/31	お名前	ご所属	ご連絡先（電話番号または Email）

[講演会に関するお問い合わせ]

東京学芸大「多摩川エコモーション」(現代GP) 事務局 (担当: 井村)

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1 東京学芸大学 環境教育実践施設内

TEL.042-329-7862/7861 FAX.042-329-7669 <http://www.u-gakugei.ac.jp/topics/gp/>